

群馬県議会 フォーラム群馬

vol.1

後藤かつみ

県議会だより

県議会改革に向け、堂々と条例提案！

「県民の税金」という視点からの改革を！

6月6日の議会初日、後藤かつみは県議会改革の重要な一歩として、政務調査費を

100%透明化する条例案を提案しました。

自民党ベテラン県議から野次が飛び交う中、後藤は「政務調査費は県民の税金から賄われている以上、1円たりとも漏らさず県民の皆様に報告



政務調査費にメスを入れる条例案を議員提案、壇上で改革の必要性を訴える後藤かつみ

することが当然の義務」と力説し、「県民の視線からの改革」を訴えました。

着実に広がる改革機運

今回、後藤かつみの提起した条例案に、会派を超えて八人の新人・若手議員に賛同いただき、9議員での共同提案

をすることができました。

多数会派の「数の力」の壁は依然として厚いものがありますが、このように改革の輪を着実に広げていけば、必ず「県民本位」の県議会に変えていくチャンスが訪れます。

県民の皆様、是非ともこれからの県議会をご注目ください。

政務調査費って？

議員の調査研究のために交付される経費で、議員一人あたり年額360万円支給されています。しかし、本県では領収書等によるチェックを行っておらず、事実上の「第二報酬」となっていると指摘されています。

2つの改革案の大きな相違点

自民党を中心とする議会運営委員会は「1万円以上

の支出に領収書添付」という改革案を提案していますが、結局「抜け穴」を残すことになり、透明化とは言えません。

後藤かつみの改革案は、「全ての支出に領収書添付」を義務付けることで、100%透明化を図ろうとするものです。

全国的にも、岩手県、長野県などの五県で既に実施されています。